

## 観光計画特論 (2単位)

担当者氏名 麻生 恵・荒井 歩

### ◆学習・教育目標

観光計画の領域は幅広いが、本講では主に観光活動の受け皿となる空間整備や観光地づくりの観点からアプローチする。21世紀成熟社会を迎え、観光活動は単なる地域ビジネスや地域活性化の手段だけでなく、バランスのとれた国土づくり、地域文化や美しい景観の形成、地域の個性や魅力づくりなどと密接に関わっている。本講では先ず、観光の概念、観光の今日的な意義について理解するとともに、観光計画の考え方、手順と方法を学んだ上で、様々な具体的な計画事例の紹介と分析を通して、それぞれの特性を活かした魅力ある観光地づくりの実際について学ぶ。また、具体的な地域を選んで、計画を考えてみることによって、プランニング能力を養う。

### ◆取り扱う領域 (キーワードで記載)

観光	レクリエーション	観光資源	リゾート
地域振興	景観計画	エコ・ツーリズム	

### ◆授業の進行等について

	テーマ	内容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	観光の概念 (第1～2週)	余暇と観光、観光の発生、観光計画の変遷、観光現象、観光の基本形、観光と地域づくり	
3	観光計画の基礎 (第3～5週)	計画の主体、観光行動、観光対象、観光資源、地域資源、観光施設、景観整備、誘致圏、各種法制度	
6	観光計画の方法 (第6～7週)	計画の構造、手順方法、事業手法、情報発信、サービスなど	
8	計画事例の紹介と分析 (第8～12週)	都市観光、リゾート、着地型観光、グリーン・ツーリズム、エコ・ツーリズム、景観計画 (文化的景観等)、フットパス、観光施設のデザイン、地域マネジメントなど	
13	地域資源と地域活性化 (第13～15週)	具体的に地域を選んで、地域資源を活かした観光地計画を検討する	
15		上記のレポート作成、提出	

### ◆教科書及び資料 (授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所 (発行年)

/ / ( )

### ◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所 (発行年)

観光・レクリエーション計画 (土木工学大系 30) /鈴木忠義ほか/彰国社 (初版 1984)

### ◆評価の方法 (レポート・小テスト・試験・課題等のウエイト)

レポート (100%)

### ◆その他受講上の注意事項